

1 橋本駅

横浜鉄道(現JR横浜線)は、明治41年(1908)に開通しました。
 湘野駅跡の次は相模駅という計画に、橋本にも駅を
 と望んだ有志が約26haの土地を提供し建設負担金
 千円の寄付を集めて駅設置が決まりました。
 ・相模線は、昭和6年(1931)に橋本駅乗り入れが実
 現、昭和19年(1944)に国鉄となりました。
 ・平成2年(1990)に京王相模原線が開通しました。

2 橋本駅ゆかりの碑

大正15年(1926)相澤安右衛門氏は、駅設置の由来を記念
 碑に残しました。
 碑には「風かほる駅やむか
 しの榮のはた」とあります。
 駅周辺の開発が進み、この碑は相澤家に移され、こ
 の地に「橋本駅ゆかりの碑」が残されました。

3 橋本七夕まつり(七夕通り)

昭和24年(1949)「橋本
 商店会」を結成。ここが中
 心になり、戦後の経済沈滞
 化を打破したいと願い七夕
 まつりを計画。第1回は昭和27
 年(1952)に実施しました。

4 照手姫モニュメント

照手姫は、江戸時代に歌舞伎などで広く知られた
 「小栗判官物語」の主人公です。姫と小栗判官の波瀾万
 丈の物語は、市内の上清周辺に伝承を残しています。
 歌人の依方智さんは「紫のもっとも淡き一群体に想
 いをのせんあじさいの花」とよみ七夕通りの照手姫の
 モニュメント(制作内藤友博)
 に刻まれています。
 社のホール入り口には、日
 展評議員陶山定人氏制作の
 「照手姫の像」があります。

照手姫の
モニュメント

照手姫の像

5 神明大神宮

創建 永祿12年(1569)(伝承)
 祭神 天照皇大神
 以前は、樹齢400年
 を越す松が生い茂り、
 往々お詣り神域でし
 た。しかし昭和34年
 の伊勢湾台風などで枯
 れてしまいました。
 境内には、学園の神
 様の天満宮や八坂神社、大鷲神社も
 あります。これは昭和46年(1971)
 商売繁盛を願う商店街の人々によ
 って勧請されました。毎年11月の
 酉の日には「酉の市(あんどまつり)」が開かれます。
 夏祭りには、明治21年(1888)55円で愛川
 町半原の矢内氏に制作依頼、また神輿は、昭和23年
 (1948)に有志により9万金で購入されたものです。

6 香福寺

臨済宗建長寺派の
 寺院です。鎌倉市に
 ある建長寺の末寺で
 山号を橋本山といひ
 ます。開山は、1400年頃
 で、本尊は、地藏菩薩です。
 境内の高野槲は、市指定
 の保存樹木で樹齢400年の
 大樹です。山門は、西御
 門で鐘楼と共に江戸時代後期に建てられました。

7 徳本念仏塔(市有形民俗文化財)

宝暦8年(1758)紀州に生ま
 れた徳本は、伊豆や関東各地に
 念仏を伝えた僧です。
 各々々の念仏講が特徴ある書
 体で書かれた「阿彌陀仏の名前」
 を買い求めそれを基に塔を建て
 たといわれています。塔は、旧
 市内に13基確認されています。

8 秋葉大権現(火伏せの神様)

香福寺境内の西側、
 国道16号線沿いに秋
 葉大権現、光明寺、
 出羽三山の参詣供養
 塔、山王社等並ぶ一
 角があります。
 天保12年(1841)4
 月、境川沿いの民家から出火し香福寺近辺まで燃え広が
 りました。しかしここで風向きが変わり火は延焼を免れました。
 これを機に秋葉様に対する信仰が深まったということです。

9 瑞光寺

高乗寺(八王子)
 の末寺で山号を橋本
 山という曹洞宗の寺
 院です。天正14年
 (1586)開山。本尊は釈迦如来です。境内に樹齢600年
 といわれるカヤの古木があります。江戸時代には寺子
 屋が開かれ、明治6年(1873)には旭小の前身ともいえ
 る本然寺が開設された記念碑があります。

10 牛久保家の長屋門

当家の長屋門は、市
 の登録有形文化財とし
 て指定されています。

11 橋本宿

今の埼玉県方面から八王子を通り大山を目指した
 人は、御殿崎を越え、境川を渡るとすぐ橋本にはい
 りました。享保21年(1736)には伝馬4頭、人足4人
 が用意され、家数48軒があったと記録にあります。
 大山道を通った両側の宿場は、南から上宿、中宿、
 下宿と分かれていました。入り口の両側に幕府の高札
 場があったそうです。

12 両国橋

徳川家康が、文祿3年(1594)に境川をはさんで北側
 を武蔵の国、南側を相模の国と決めました。それから
 この橋を両方の国を結ぶことで両国橋と名がつけられ
 ました。

13 境川

かつては高座川とよばれ、相模国と武蔵野国の境界
 を流れることから境川と呼ばれるようになりました。
 相模原が市になる前は高座郡相模原町でした。この頃、
 高座をつけた農産物に高座豚、サツマイモの高座赤な
 どがあります。
 第2次世界大戦前後
 までは清流で、夏は子
 どもたちの水遊び場で
 した。

14 長屋門(原清)

相模原最大の清兵衛新田を開発した原清兵衛光保の
 後裔、原家の所有です。建築年代は明確ではなく幕末
 ない近代初期の建築であろうと推定。平成10年
 (1998)の移築の際に改
 修しました。この原
 家の長屋門と東隣りに
 ある小山家の長屋門が
 神奈川県「昔の町並
 み百景」に選ばれました。

15 地藏菩薩(子育て地藏)

このお地藏様は、享保4年(1719)
 に建てられました。幼くして亡く
 なった子どもの供養のため建てたも
 のでしょう。昔は講中がありましたが
 戦後後継者不足で、今は近所の方々に
 より守られています。春の後半には
 蓮乗院のご住職にお願いし、皆さん
 で供養しているそうです。

16 蓮乗院

蓮乗院は天壽山無量寺とい
 う天文3年(1534)創建され、後に、
 江戸時代に高尾山薬王院の末寺
 となった真言宗智恵心院の寺です。
 清兵衛新田開発の際、江川代官所
 の役人の宿舎となりました。明治
 5年(1872)寺子屋が養正学校として開設された記念
 碑があります。また、昭和56年(1981)徳川幕府の貴
 重な資料「順政」が発見されました。

17 庚申塔(金剛菩薩)

この庚申塔は、青面金剛が彫られており宝暦4年
 (1754)に建立されました。
 庚申塔は、村や地域の辻に
 建てられ、悪疫を防ぎ、また招
 福、延命をもたらすものとして
 講中がつくられ、60日ごとにく
 る庚申(かのえさの)の日にお
 参りがされていました。

18 うま坂(地名標柱)

19 馬頭観世音

この碑は、昭和22年(1947)
 に建てられました。この馬は、
 農家で結露などの運搬作業に飼
 われていたが、ある日蓬萊橋
 から川に落ちて死にました。家
 族はこれを悲しみ、供養のため
 にたがみを埋め、碑を立てました。

20 まつば坂(地名標柱)

21 天縛皇神社

宮上・宮下地区の氏神。
 天文元年(1532)創建。主祭
 神は伊弉諾大神、伊弉諾大神
 で合わせて天照皇大神・
 神皇岐命・大山命を祀られています。旧小山村の村社
 でした。また、氏子の戦没者慰霊碑が建立されています。
 天縛とは、天竺信仰に基づくものではないかとみ
 られています。祭礼は毎年8月29日。

22 二十三夜様

蓬萊橋のたもとに、昔か
 ら土地の人たちに二十
 三夜様と呼ばれている
 石仏があります。石仏は勢
 至菩薩で、二十三夜とは、旧暦の23日に講中が集まり、
 修行・飲食をともにし月の出を待った、月待ち講の
 ことです。
 その他ここには庚申塔、精進場の石標があります。

23 精進場(地名標柱)

大正12年(1923)に、
 養蚕が重要な産業であ
 ることから県立農業学
 校の名で橋本駅南口に
 創立されました。その後
 3回名前を変えて、昭和
 29年(1954)に現在の県立相模原高校になりました。畜産科
 学・食品科学科など6科あり、野菜や牛乳などの販売や
 企業と共同で商品を開発するなど地域に親しまれています。

24 相原高校

大正12年(1923)に、
 養蚕が重要な産業であ
 ることから県立農業学
 校の名で橋本駅南口に
 創立されました。その後
 3回名前を変えて、昭和
 29年(1954)に現在の県立相模原高校になりました。畜産科
 学・食品科学科など6科あり、野菜や牛乳などの販売や
 企業と共同で商品を開発するなど地域に親しまれています。

25 橋本変電所

大正12年(1923)に国道16号線沿いに建てられ、送
 電を開始しました。当時はスイッチで電圧を変えたの
 で「開閉所」と呼ばれて
 いました。
 変圧する時に出る電熱
 を下げるために使った
 井戸水は、社宅の人や
 地域の人に給水され、喜
 ばれていました。

26 棒杭(地名標柱)

この棒杭は、市の登録史跡です。
 江戸時代に盛だった大山詣で
 に使う道と大山詣で、橋本を
 通る大山道は棒杭(地名標柱)がある
 場所が、田名と上清の分岐点
 でした。この棒杭の道標は、区画
 整理のため少し奥の小山家に移さ
 れました。道標には「右大山みち
 田名」と彫られ、田名方面にお
 客を呼ぼうとしたのではないかと
 言われています。

29 開拓記念碑

太平洋戦争が終わると、国は、食
 糧難、引揚者対策として荒れ地の
 開拓計画を進め、昭和24年(1949)
 に北相模農業協同組合が設立
 されました。今の橋本駅周辺の開拓
 が行われ、関係者によって記念碑が
 建てられましたが、都市化により現
 在地に移されました。

30 工機部等跡地(区画整理竣工記念碑)

この地に、国鉄橋本自動車工場(工
 機部)が、昭和20年(1945)に開所、昭
 和59年(1984)に閉鎖されました。こ
 の工機部の跡地と一部周辺の用地
 を合わせ、平成9年(1997)から神奈
 川県住宅供給公社が、土地の区画
 整理を行い、高層マンションのオ
 ーロンサイトなどが建設されました。

31 大山道(地名標柱)

32 供養塚

永祿12年(1569)10月に武田信玄と北条氏康の軍
 勢が、愛甲郡三増峠で戦いました(三増合戦)。その
 ときに敗退した北条方の落武者のうち、八王子の滝
 山城に引き返す途中で力尽きた数人が自刃した場所だ
 と伝えられています。明治31年(1898)に地元橋本の
 人々が供養塔を建立し、
 それから供養塚と呼ば
 れるようになりました。
 ここには、日清、日
 露、太平洋戦争の戦没者
 を悼み、哀思碑・忠魂
 碑も建立されています。



33 旭小学校

明治35年(1902)小学校令により、各集落にあった
 学舎が統合され、旭小学校となりました。低学年のた
 めに、小山、相原に分校も設置されました。
 この時、校名をめぐって村会で二月八日の夜遅くま
 で議論しましたが決まらず、九日の朝を迎えました。
 朝日を見た村長は、九日を組み合わせて旭ではどう
 かと提案し、議員の賛同を得てこの校名になりました。

34 元橋本遺跡

国道16号バイパス建設と周辺のマンション建設など
 の開発に伴い昭和55年(1980)以降6回にわたる発掘
 調査で、石器時代、縄文
 時代の居住跡や石器
 が多数発見され、平成14
 年(2002)に相模原市が
 「登録遺跡」として指定し
 ました。

35 久保沢道(地名標柱)

36 橋本公民館

平成12年(2000)4月、現在の場所に移転しました。
 公民館では、地域の人たちが集まって、身近な問題
 についての話し合いや仲間づくり、学習活動、趣味の
 サークル活動などが行われています。

橋本歴史記

牛久保家の「持ち上げ観音」

この家で飼っていた馬は、天
 延りこうな馬でした。しかし文
 政8年(1825)当主が、馬に
 乗り木方面に出かける途中、馬
 が倒れて死んでしまいました。
 そこで林の中に馬頭観世音
 の像を建てて供養しました。そ
 の後この像が家に隣りたがっ
 ていたことから家にあずかるこ
 になりました。それから、こ
 の観音様の像に願をかけると、願いが叶うときは、軽く持
 ち上がるというので、人々の信仰を集めたといひ
 ます。(非公開です)

